



2020
9.19 SAT - 12.13 SUN

香りの器

FORMS FOR
FRAGRANCE

高砂コレクション
TREASURES FROM
THE TAKASAGO COLLECTION

開館時間 | 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休館日 | 毎週月曜日、9月23日(水)、11月24日(火)
【9月21日、9月22日、11月23日は開館します】

主催 | 三重県立美術館 特別協力 | 高砂香料工業株式会社
企画協力 | 岡村印刷工業株式会社、株式会社求龍堂、株式会社アートワン
助成 | 公益財団法人三重県立美術館協力会

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

(上段左から) ムネ・フラック《香水瓶(コーネリ)》1919年 / 《陶器製手村香粉瓶》前9世紀 / パナフ《香水瓶》「銀はミス・ディオールのものです。」1967年 / マイロン《色紙製香水瓶(アムルカン)》19世紀 / 《青色ガラス金糸草文香水瓶》19世紀 / 《赤色ガラス香水瓶》19世紀 / ビルストン《エタメル帯花文香水瓶》19世紀 / 《金糸・銀》《ビヴェール社花鳥漆器香粉瓶》より部分 20世紀初頭 / ナベテ調子コレクション

香りの器—高砂コレクション

2020年9月19日(土) — 12月13日(日)

企画概要

香料を用いて香りを作り、これを楽しむ文化は、はるか古代に始まり、文明の発達とともに進化してきました。文明化された社会では、香りは人々の生活に欠かせないものとされ、人々は異国に香料を求め、貴重な香油や香木をおさめるために、贅（ぜい）を尽くし、美しくかざった器を用意しました。香りは目に見えるものではなく、形を残すものではありません。しかし、今日残される香水瓶、香道具の数々は、人々が愛した香りの文化を現在に伝えています。

本展では、今年創業 100 年を迎える高砂（たかさご）香料工業のコレクションより、香りにまつわる工芸品約 230 点を展示し、香りの歴史と文化をご紹介します。紀元前オリエントやギリシアの香油瓶から、日本の伝統的な香道で使われた漆芸品の数々、ヨーロッパ王侯貴族に愛された 17 世紀の陶磁器や 20 世紀香水メーカーの香水瓶まで、古今東西の「香りの器」が一堂に会するこの機会を、どうぞお見逃しなく。

高砂（たかさご）香料工業株式会社

1920（大正 9）年 2 月、甲斐荘楠香（かいのしょう・ただか）により創業。当初は合成香料を製造する会社としてスタートしたが、現在は世界有数の規模を持つ総合香料会社として、合成香料のほか食品用フレーバー、化粧品やトイレタリー用品（せっけんや歯磨き粉）向けのフレグランス、触媒技術を用いたファインケミカルの開発・製造を行う。

香り文化の支援と普及にも取り組み、1964 年に「梅松蒔絵十種香箱」を収集したことをきっかけに、工芸品の収集を開始。そのコレクションは古今東西の工芸品、香木、香りに関する絵画やポスターなどを含む、多彩なものとなっている。



1. セーブル《草花文ポプリポット》18 世紀 フランス 高砂コレクション

展示構成

第1章 異国の香り

- ・古代の土器・陶器・石製容器
- ・古代オリエントのガラス製容器
- ・イスラーム世界
- ・携帯用の香水瓶
- ・陶磁器製の小さな香水瓶
- ・ボヘミアン・ガラスの香水瓶
- ・ルネ・ラリック
- ・香水メーカーの香水瓶
- ・さまざまな化粧道具
- ・カタログ・ポスター

第2章 日本の香り

- ・香道具
- ・香炉・香合
- ・香木
- ・香道伝書等

※「香りの器」展示室内では、作品名・作品解説・コラムは、日本語と英語の二か国語で表記しています。

みどころ

- ・世界各地の「香り」にまつわる工芸品が一堂に会します

高砂香料工業が長年にわたって収集してきた香りまつわる工芸品から、約230点の名品を選びすぐって展示します。紀元前にオリエントやギリシアで用いられた香油瓶から、マイセン、セーブル、ウェッジウッドなど、ヨーロッパの名窯で製造された華麗な陶磁器、ガレ、ドーム兄弟、ラリックなど、有名デザイナーのデザインによる香水瓶、20世紀フランスの香水文化を彩ったポスターなどを展示します。

- ・日本の香道具の優品が揃います

伝統的な香道で用いられてきた香道具、香道資料が揃います。香道具の基本のセットともいえる十種香箱（じゅっしゅこうばこ）、名家に伝来した香木（こうぼく・香りの材料となる木）、香木を切り分ける香割道具（こうわりどうぐ）など、日本の伝統的な香り文化を伝える作品を展示します。高砂コレクションの香木は、この展覧会が初公開の機会となります。

会期中のイベント

※手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

●講座「香水の世界—香りに親しむひととき」

高砂香料工業より調香師をお招きし、香りを嗅ぐ体験をしながら、香水について学びます。

日時：11月7日（土）午後2時—（1時間程度）

場所：三重県立美術館講堂

講師：岡島佐知子（高砂香料工業 フレグランス研究所）

定員 20名／参加無料／要事前申込

（申込締切：10月28日（水）必着）

●連携講座「貴族の個性はお香から」

斎宮歴史博物館より学芸員が登場。日本古代の「香り」の歴史を学ぶ入門的な講座です。

10月31日（土）午後2時30分—（1時間程度）

講師：船越重伸（斎宮歴史博物館）

会場：三重県立美術館講堂

定員 35名／参加無料／要事前申込

（申込締切：10月21日（水）必着）

【イベント申込方法】

上記の申込締切日までに往復はがき、または美術館ウェブサイトのウェブ申込フォームにてお申込みください。往復はがきでお申込の場合は、往信面に①参加希望のイベント、②参加者全員の氏名（1通につき3名まで）、③当日連絡先（電話番号）を、返信宛名面に返信先住所を記載のうえ、「〒514-0007 津市大谷町11 三重県立美術館 イベント係」までお送りください。申込多数の場合は抽選し、締切から1週間後までに結果をお知らせします。



2. 《鹿形香油瓶》7-8世紀 アフガニスタン～中央アジア 高砂コレクション



3. エミール・ガレ《草花文香水瓶》1900年頃 高砂コレクション



4. ルネ・ラリック《香水瓶「ユーカリ」》1919年 高砂コレクション

展覧会情報

香りの器 高砂コレクション

Forms for Fragrance – Treasures from The Takasago Collection

2020年9月19日(土)–12月13日(日)

開館時間 午前9時30分–午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日、9月23日(水)、11月24日(火)

(9月21日、9月22日、11月23日は開館します)

主催 三重県立美術館

特別協力 高砂香料工業株式会社

企画協力 岡村印刷工業株式会社、株式会社求龍堂、株式会社アートワン

助成 公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料：一般 900 (700) 円 学生 700 (500) 円 高校生以下無料

() 内は 20 名様以上の団体割引料金

- ・この料金で「特集展示 榊莫山展 (9月24日(木)から)」、「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。
- ・生徒・学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・県内学校(小・中・高・特別支援)等が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。
- ・毎月第3日曜(9月20日、10月18日、11月15日)の「家庭の日」は団体割引料金でご覧いただけます。
- ・前売り券は販売していません。

※今後の状況に応じて、情報は変更となる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

【巡回】

パナソニック汐留美術館(東京) 2021年1月9日(土)～3月21日(日)(予定)

※ほか、京都、秋田会場を巡回予定。

※巡回情報につきまして、最新情報は各館のウェブサイトをご覧ください。

【同時期開催】

特集展示 没後10年 榊莫山展

9月24日(木)–12月20日(日) 三重県立美術館常設展示室 2+3 室

広報用画像の提供について

本プレスリリース掲載の画像を広報用に提供します。ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご希望の図版番号をメールまたはファクス、電話にてご連絡ください。図版データをお送りします。



5. 《鶴時絵香枕》江戸時代
18世紀 高砂コレクション



6. 《ピヴェール社化粧品総合カタログ》
20世紀初頭 高砂コレクション

- ・ 作品情報、クレジットを必ず併記してください。
- ・ 作品部分にかかるトリミング・文字のせはご遠慮ください。
- ・ 掲載物を一部または紙面データを美術館にご提供ください。
- ・ 提供したデータについて、広報目的以外のご使用はできません。
- ・ ウェブサイト上に掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記し、コピーガードをかけて下さい。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 高曾由子 (こうそ・ゆうこ)、道田美貴 (みちだ・みき)
〒514-0007 三重県津市大谷町 11 Tel: 059-227-2100 Fax: 059-223-0570
E-mail : kosoy00@pref.mie.lg.jp (高曾)